

## 安保法制反対は続いていく

無職

(大阪府 66)

告団を支援する寄付をしたい。

安全保障関連法がどうとう成立してしまつた。反対集会に参加してきた私は、残念でならない。小林節・慶応大学名誉教授らは安保法制で「平和のうちに生存する権利を侵害された」として国家賠償を求める訴えを検討しているという。違憲の疑いが濃い法の合憲性を司法に問うのは当然の筋道だ。新法を受け

政府は来春、南スーダンで「駆けつけ警護」を担う自衛隊派遣を予定している。これを具体的な問題として、違憲性を訴えられるだろう。原告団側の法律家の知識・見識に期待しよう。原

告団を支援する寄付をした。これまでは立法の段階で反対をしてきた。反対運動を終わらせてはならない。やるべきことはまだある。自衛隊を海外派遣する時は、国会の承認を得る必要がある。その時は、我々国民が大きな反対の声を上げなければならぬ。安保法制反対の運動はこれから長く続くのだ。

かつて、政権を託すのは自民党だと私は思っていた。昔は自民党内でも様々な意見があり自由な議論があつた。だが今の自民党は安倍一色だ。数を頼み、9条を無視し、反対の声を貸さず安保関連法を成立させた。もう自民党には投票しない。